

令和6年9月12日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会
(公印省略)

「感染症発生動向調査情報（第36週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

【問合せ先】

大阪府医師会・地域医療1課
TEL 06-6763-7012

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2024年 第36週（9月2日～9月8日）

今週のコメント

～手足口病～ 手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病 警報レベル迫る」

第36週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は 2,306例であり、前週比 15.5%増であった。定点あたり報告数の第1位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ 4.69、3.16、1.80、0.88、0.36である。

手足口病は前週比22%増の923例で、北河内7.76、大阪市北部7.57、中河内6.95、三島6.18、堺市3.79であった。前週と比べ、全ブロックで増加している。

感染性胃腸炎は 10%増の622例で、北河内4.40、豊能3.78、大阪市南部3.50である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 15%増の355例で、大阪市南部2.67、堺市2.53、中河内2.11であった。

RSウイルス感染症は 30%増の174例で、大阪市北部・堺市1.21、南河内1.19である。

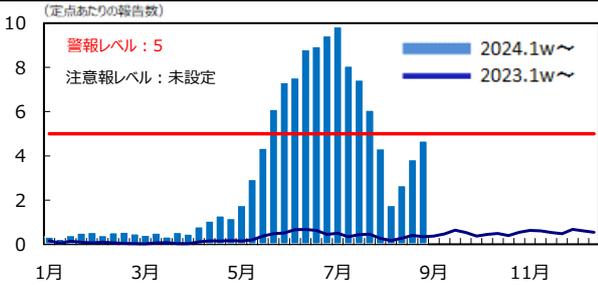
ヘルパンギーナは 24%減の71例で、中河内0.74、三島0.59、大阪市東部0.53であった。

第36週から2024/25シーズンのサーベイランスが開始されたインフルエンザは32%増の131例で、定点あたり報告数は0.43である。南河内1.25の1ブロックで定点あたり報告数1を超えた。

新型コロナウイルス感染症は10%減の1,231例で、定点あたり報告数は4.02である。南河内5.50、北河内5.37、泉州4.74、堺市4.48、三島3.74であった。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は前週から5例減の43例の報告があった。

手足口病



RSウイルス感染症

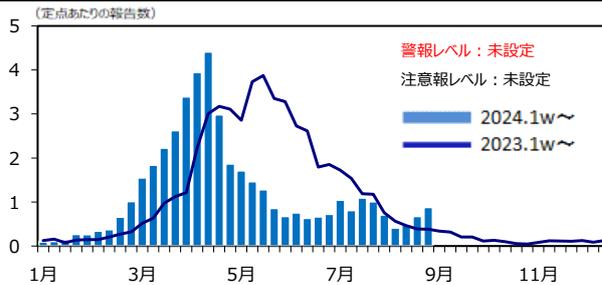


表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第36週9月2日～9月8日）

第36週の順位	第35週の順位	感染症	2024年 第36週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2023年 第36週の 定点あたり 報告数	2024年第36週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	手足口病	4.69	22%増	0.33	1歳_26%
2	2	感染性胃腸炎	3.16	10%増	2.96	1歳_20%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.80	15%増	2.54	10-14歳_14%
4	4	RSウイルス感染症	0.88	30%増	0.37	1歳_40%
5	5	ヘルパンギーナ	0.36	24%減	0.48	1歳_24%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.43	32%増	3.90	20歳以上_18%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	4.02	10%減	14.62	10-19歳_16%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

[詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について\(大阪府\)』の情報をご覧ください。](#)

[詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症\(大阪府感染症情報センター\)』の情報をご覧ください。](#)

2024/25年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第36週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症	
腸管出血性大腸菌感染症	
<p>腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ペロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期において、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要である。</p> <p>腸管出血性大腸菌感染症（大阪府感染症情報センター） 腸管出血性大腸菌感染症とは（国立感染症研究所）</p>	<div style="text-align: center;"> <h4>年別累積報告数（大阪府）</h4> </div>

表 2. 大阪府全数報告数（2024年 第36週9月2日～9月8日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患 をご覧ください。）

3 類感染症	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内市町村別									府内累積報告数
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市		
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11	1	3	2	1	1				3	147
4 類感染症	デング熱	1								1		13
	日本紅斑熱	1	1									9
	レジオネラ症（肺炎型）	1					1					79
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2				1	1					122
	急性脳炎	2								2		13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1						1			82
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1									1	49
	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1					175
	水痘（入院例）	1			1							21
	梅毒	11		1			1		1	1	8	1,311
百日咳	4					1				3	70	
結核 (2024年7月分)	結核 新登録患者数：84名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 27名) (府内累積報告数 612名、内 肺・喀痰塗抹陽性 225名)											

(2024年9月10日 集計分)

感染症発生動向調査情報 (ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数)

2024年9月10日

第36週 2024年9月2日～2024年9月8日

(ブロック別)

(年齢別)

ブロック名 定点数 疾病名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	合計	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部		
	小児科	23	17	25	19	16	19	21	14	10	15	18	197
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52
基幹	2	2	2	2	2	2	2	4				18	
インフルエンザ	37	27	41	30	24	29	34	20	15	22	27	306	
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	8	9	29	20	19	23	20	17	11	10	8	174
	咽頭結膜熱	2	2	4	12	2	5	6	9	2	2	7	53
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	9	48	40	33	48	41	20	15	24	48	355
	感染性胃腸炎	87	49	110	63	54	55	73	17	30	21	63	622
	水痘	3	4	4	7	1	1	6	0	0	1	0	27
	手足口病	85	105	194	132	51	72	65	106	28	33	52	923
	伝染性紅斑	0	3	2	2	0	0	0	0	0	0	1	8
	突発性発しん	5	5	11	11	5	4	3	4	0	1	4	53
	ヘルパンギーナ	4	10	7	14	6	5	5	7	3	8	2	71
	流行性耳下腺炎	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
把握科 定点疾患	急性出血性結膜炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	流行性角結膜炎	4	1	0	1	3	0	0	1	2	3	0	15
合計	229	198	411	302	174	213	219	181	91	103	185	2306	
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0				0	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0				0	
	マイコプラズマ肺炎	7	3	9	0	2	11	5	6				43
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0				0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0				0	
イ定	インフルエンザ	3	5	19	7	30	1	34	10	4	11	7	131

年齢区分 疾病名	6	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	15	20	合計	
	ヶ月未満	ヶ月未満	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳から14歳	歳から19歳	歳以上		
	R	17	31	70	36	8	7	1	1	1	1	0	1	0	0	174
	咽	1	1	8	12	14	3	3	2	2	1	0	4	1	1	53
A	0	4	10	21	35	46	42	42	35	19	24	48	4	25	355	
感	9	49	127	64	61	34	41	35	31	23	26	63	20	39	622	
水	0	0	3	0	5	1	0	4	5	3	0	4	2	0	27	
手	6	52	240	175	126	123	70	61	26	15	9	10	2	8	923	
伝	0	2	0	0	2	1	0	0	0	2	0	1	0	0	8	
突	0	8	34	6	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	53	
へ	0	3	17	16	10	7	3	4	3	3	1	2	0	2	71	
流	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	4	
急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
流	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1	10	15	
合計	33	150	509	331	264	225	160	150	105	69	60	134	30	86	2306	
細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マ	0	0	3	5	0	2	3	1	2	0	6	13	3	5	43	
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
イ	0	0	4	11	3	12	16	14	8	12	11	10	7	23	131	

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2024年9月10日

(ブロック別)

第36週 2024年9月2日～2024年9月8日

ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合計	上位5疾患順位	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部										
定点数	小児科	23	17	25	19	16	19	21	14	10	15	18	86	57	19	11	8	8	8	197	
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52	
	基幹	2	2	2	2	2	2	2	4			8	4	2	1	2	0	1	18		
	インフルエンザ	37	27	41	30	24	29	34	20	15	22	27	137	84	29	17	13	13	13	306	
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	8	9	△ 29	20	△ 19	△ 23	△ 20	17	△ 11	10	▽ 8	△ 59	46	△ 23	▽ 15	▽ 2	▽ 1	△ 13	▲ 174	4
	咽頭結膜熱	△ 2	▽ 2	▽ 4	△ 12	2	▲ 5	6	△ 9	▽ 2	▽ 2	△ 7	12	△ 20	▲ 5	2	△ 1	1	△ 1	△ 53	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▲ 29	9	48	40	△ 33	48	▲ 41	20	△ 15	▽ 24	△ 48	△ 110	107	48	28	△ 1	▲ 11	▽ 11	355	3
	感染性胃腸炎	△ 87	49	110	▽ 63	54	55	△ 73	▼ 17	▲ 30	▲ 21	63	239	131	55	26	▲ 28	28	46	622	2
	水痘	▽ 3	△ 4	△ 4	△ 7	1	▽ 1	6	▽ 0	0	1	▼ 0	10	▼ 1	▽ 1	△ 3	△ 3	▽ 0	△ 2	27	
	手足口病	85	▲ 105	△ 194	▲ 132	51	▲ 72	65	▲ 106	28	33	52	▲ 307	219	▲ 72	66	▲ 42	57	62	▲ 923	1
	伝染性紅斑	0	▲ 3	2	△ 2	0	0	0	0	0	▽ 0	△ 1	△ 3	1	0	△ 2	1	0	▽ 0	△ 8	
	突発性発しん	▲ 5	▲ 5	△ 11	11	5	△ 4	△ 3	△ 4	▽ 0	△ 1	▲ 4	△ 18	9	△ 4	▽ 6	△ 1	△ 2	△ 5	53	
	ヘルパンギーナ	▽ 4	△ 10	▽ 7	△ 14	▽ 6	▽ 5	▼ 5	▽ 7	▽ 3	△ 8	▽ 2	▽ 20	▽ 20	▽ 5	6	△ 5	▽ 2	▽ 2	▽ 71	5
	流行性耳下腺炎	△ 2	△ 1	▽ 1	0	▽ 0	▽ 0	▽ 0	0	▽ 0	0	0	▽ 3	▽ 0	▽ 0	0	0	△ 1	▼ 0	▽ 4	
把握科 疾患	急性出血性結膜炎	0	0	△ 1	0	0	0	0	▽ 0	0	0	0	▽ 0	0	0	0	0	0	0	▽ 1	
	流行性角結膜炎	△ 4	1	0	▽ 1	▲ 3	▽ 0	0	△ 1	△ 2	△ 3	0	▲ 4	△ 6	▽ 0	▽ 0	0	△ 2	0	△ 15	
合計		229	▲ 198	411	302	174	213	△ 219	181	▲ 91	103	185	△ 785	560	213	154	▲ 84	105	142	2306	
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	▽ 0	0	0			0	0	▽ 0	0	0	0	0	0	▽ 0	
	マイコプラズマ肺炎	△ 7	▼ 3	9	0	▽ 2	11	5	6			14	▽ 6	11	0	▼ 3	0	9	43		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0		
イ定	インフルエンザ	▼ 3	▲ 5	△ 19	▽ 7	▲ 30	▼ 1	▲ 34	▽ 10	▲ 4	▲ 11	▽ 7	▲ 71	▽ 32	▼ 1	▼ 0	△ 4	△ 1	△ 5	△ 131	

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2024年35週(08月26日～09月01日)

1～4類 (全数把握)	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ (A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	257
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	0
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	0
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	6
腸管出血性大腸菌感染症	139
腸チフス	4
パラチフス	0
E型肝炎	10
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	4
エキノコックス症	0
エムボックス	0
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	0
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	1
デング熱	14
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ (H5N1 及びH7N9を除く。)	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	20
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ボツリヌス症	0
マラリア	0
野兔病	0
ライム病	1
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	43
レプトスピラ症	1
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部 (全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	7
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	2
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	45
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を)	14
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	17
後天性免疫不全症候群	8
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	14
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	18
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	7
先天性風しん症候群	0
梅毒	228
播種性クリプトコックス症	3
破傷風	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2
百日咳	92
風しん	0
麻しん	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	1874	0.38
COVID-19	36891	7.46
R Sウイルス感染症	2039	0.65
咽頭結膜熱	823	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5501	1.75
感染性胃腸炎	8241	2.63
水痘	385	0.12
手足口病	17872	5.70
伝染性紅斑	500	0.16
突発性発しん	924	0.29
ヘルパンギーナ	2561	0.82
流行性耳下腺炎	112	0.04
急性出血性結膜炎	13	0.02
流行性角結膜炎	329	0.47
細菌性髄膜炎	15	0.03
無菌性髄膜炎	16	0.03
マイコプラズマ肺炎	569	1.18
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	2	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	3	0.01

定点数	
インフルエンザ/COVID-19	4943
小児科	3138
眼科	696
基幹病院	482

7月(月報)	性感染症・基幹定点	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症		2674	2.73
性器ヘルペスウイルス感染症		864	0.88
尖圭コンジローマ		571	0.58
淋菌感染症		762	0.78
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1371	2.86
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		76	0.16
薬剤耐性緑膿菌感染症		8	0.02

定点数	
STD	980
基幹病院	480

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。

2024年9月10日

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数

(ブロック別)

第36週 2024年9月2日～2024年9月8日

ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市 北部	09 大阪市 西部	10 大阪市 東部	11 大阪市 南部	合計
COVID-19定点数	37	27	41	30	24	29	34	20	15	22	27	306
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	113	101	220	108	132	130	161	70	26	73	97	1231
疾病名	定点あたり報告数											
新型コロナウイルス感染症	3.05	3.74	5.37	3.60	5.50	4.48	4.74	3.50	1.73	3.32	3.59	4.02
35週	4.76	2.85	4.98	3.23	4.29	6.03	5.09	5.65	3.73	3.36	4.44	4.47
34週	5.32	3.78	6.63	3.60	5.88	6.86	5.15	6.50	3.73	4.86	4.93	5.29
33週	5.81	2.59	5.02	2.67	8.42	5.90	1.88	6.75	6.07	3.64	3.30	4.58
32週	8.14	5.48	7.73	7.30	8.46	13.72	7.24	7.80	6.27	6.14	4.15	7.61
31週	10.65	8.19	15.66	12.43	13.63	18.24	10.82	14.05	10.00	11.45	14.33	12.82

(年齢別)

年齢区分	0歳	1歳 から 4歳	5歳 から 9歳	10歳 から 19歳	20歳 から 29歳	30歳 から 39歳	40歳 から 49歳	50歳 から 59歳	60歳 から 69歳	70歳 から 79歳	80歳 以上	合計
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	49	144	110	194	91	86	100	114	99	128	116	1231
	4%	12%	9%	16%	7%	7%	8%	9%	8%	10%	9%	